

28 段丘はどのようにしてできたのだろうか

川の近くや、海岸近くを歩くと、よく図-80のような、階段状になった地形を見ることがあります。その各段の上には、田んぼがあったり、民家があったりして本当にきれいな景色を作っています。

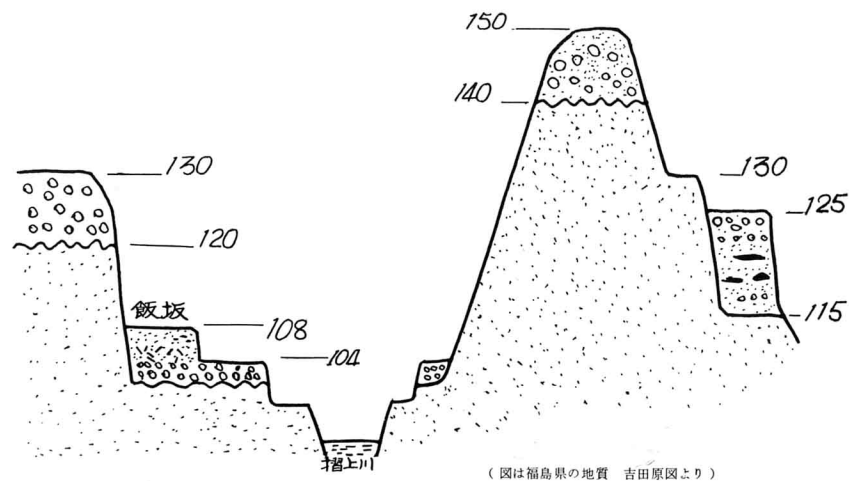
さて、このようなきれいな階段はどのようにしてできたのでしょうか。

県内の各地域によって時期の違いはありますが、いまかりに数千年前に図-81(a)のような地域で川が流れていたとします。その後、海の面がさがったり、あるいは、陸地が上ったり（隆起）しますと、川の流れは非常にはやくになります。

すると、川底の部分が、いままでよりずっと多くけずりとられる（^{かこく}下刻作用）ようになります。

その後、海水面があがってきたり、あるいは、陸地が沈んで（沈降）いきますと、流れはゆるやかになり、こんどは、川岸をけずり取るような働きに変わります（側方浸食）。このようなはたらきによって、川岸には一つの階段ができあがるのです（図-81のb）。

このはたらきが何度もくり返されると図-81のCや図-80のような地形ができあがるのです。



（図は福島県の地質 吉田原図より）

図-79 福島市飯坂町付近の段丘地形説明図（図中の数字の単位はメートル）